

こんにちは 庄内町議会です



響け歌声♪

5年ぶり来町 ロシアコルサコフ合唱団

- 北月山荘宿泊再開 ————— 〈議案〉 P2
- 駅前開発に議論百出 ————— 〈特別委員会〉 P3
- ここがききたい15人の熱弁 ————— 〈一般質問〉 P4
- 議会と議員、何やってんなや〜? ————— 〈特集〉 P12



No10
6月議会号
19.7.20

町民運動会を見て



子供を地域で かこ育てる



▲ガンバレー (清川地区)

去る6月3日に庄内町民運動会が町内各地で行われました。今年から、立川地域でも小学校の学校行事として、小学生全員が参加して行われました。余目地域の運営方法を立川地域でも採用し統一したのですが、大会関係者や町民の皆さんからは大変歓迎されたようです。

近年、スポーツ大会などが重複したりで、子供たちの参加が少なくなりました。今年は、子どもたちと、その父兄の皆さんが、大勢参加し大変盛り上がった大会となりました。

子供たちの活躍に地域の大人たちが歓声をあげ、大人たちの激走、珍プレーに子供たちが大きな声援をおくってくれました。

町益に 資する

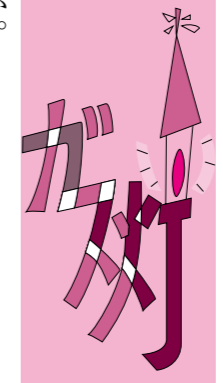
今、議会では、特別委員会を設け一町二制度の調整という難題に取り組んでいます。

旧両町それぞれの歴史や思い入れがあるなか、難航しているものもありますが、今回の運動会の運営方法の調整が良い見本になったと思います。

一町二制度の調整の基本は「しがらみ」や「こだわり」を捨て、いかにするのが町民のためになるのか、この一点です。今回の経験を生かし先入観を捨て、できることから調整していきます。

▼6月24日に「山形県立庄内総合高等学校」創立80周年記念式典が挙行されました。歴史を振り返ると、実科女学校として発足後、余目高校、平成7年の学校改編で総合高校となりました。活躍する後輩を見ると、自分の高校時代が懐かしく思い出されます。その当時は携帯電話やパソコンもなく、現在のこの変化には戸惑いを感じることも多くあります。

▼携帯電話は相手と対面している訳ではなく、パソコンは手を使って書くということではありません。利便性を認めつつも、多くのものが失われつつあることも事実です。物質的には裕福でも、心が豊かでなければ、感性豊かな発想をもつ人間は育つてこないのではない



でしようか。

▼先頃、住民税の納税通知書が届けられました。定率減税の廃止、所得税の一部が住民税の所得割に移し変えられたことにより、大幅に税額が増えました。本町の増税者は99・5%とのこと、私も含め庶民は痛みを感じる時代になっています。

(工藤 範子)

▼先頃、住民税の納税通知書が届けられました。定率減税の廃止、所得税の一部が住民税の所得割に移し変えられたことにより、大幅に税額が増えました。本町の増税者は99・5%とのこと、私も含め庶民は痛みを感じる時代になっています。

(工藤 範子)

発行人	議長 梅木 隆
議会広報調査	特別委員会
委員長	小野 一晴
副委員長	石川 武利
委員	石川 保
委員	佐藤 彰
委員	工藤 範子
委員	石川 恵美子

北月山荘 宿泊再開

――当面は素泊り対応――

12日開催の本会議で、宿泊業務を停止していた「北月山荘」の運営について「利用拡大を図るため、宿泊を再開したい」として、北月山荘の設置及び管理を改正する条例、補正予算が上程され、賛成多数で可決されました。

「月の沢温泉北月山荘」は、これまで運営してきた第3セクターの解散に伴い、昨年7月1日から町直営となっていました。また、営業内容も、食堂部門、宿泊部門を廃止し、温泉を中心とした日帰り対応となっていました。

町長は「1年かけ、立谷沢川流域全体の振



▲ぜひ、ご利用ください

興を検討してきた。振興計画も策定し、今後アクションプランを検討する上でも、北月山荘の果す役割は大きい。宿泊再開要望もあり、予算的に大きな投資はしないが、可能性を広げる意味でも予算、条例を改めたい」と、提案理由を説明しました。

また「なぜ当初予算でないのか」「食事提供等の要望に応えられるのか」などの質問に対し、「再生コンセプト会議などで集中審議した際、過去のデータを検討したが、この春の動向も探りたかった」と「食堂部門は再開しない。業者のあつせん、電子レンジ等の利用で対応したい」と、答弁

しました。

7月1日から施行し、入浴を含む宿泊料金は、大人2千500円、子ども1千250円となりました。

条例

トレーニング室 町民料金導入

3月定例会で当局が議案撤回した、トレーニングルームの使用料に関する改正条例案が改めて上程され、原案どおり可決されました。

町民と町民以外では、15倍の格差とし、器具使用料で、1カ月600円、6カ月3千円となりました。（町民料金）

また、トレーニングルームを移転し、器具も一新、増設します。

ぜひ、ご利用ください。

補正予算

97億938万3千円

北月山荘の夜間管理委託料などを含め、歳入歳出それぞれ538万3千円を追加し、19年度一般会計は、97億938万3千円となりました。

人事

教育委員

8月16日で任期が満了する正木尚文氏（新町）に替わり、池田定志氏（上荒宿）を、選任することに同意しました。



池田委員

人権擁護委員

9月30日で任期が満了する日向清士氏（今岡）を、引き続き推薦することにしました。

地方の声を聞いてください



▲着々と進む高規格道路（酒田市丸沼）

道路は、地域振興を図るうえでも重要な流通基盤であり、大切な生命線でもある。

しかし、本地域における高速道路網の整備率は極めて低い状況にあり、幹線道路網の整備は緊急の課題となっている。

よって次の事項を実現できるように強く要望する。

1. 道路整備については、地方の道路整備の推進に必要な財源を確保すること。
2. 地域間格差を是正するため、地方における道路整備財源の充実を図ること。
3. 19年度中に策定される中期的な計画には、地域の声を十分に反映させること。

駅前開発に

議論百出

公的資金 9億7千700万円投入 特別委員会 集中審議

中心市街地活性化と駅前再開発が4月16日の全員協議会に提案され、6月定例会で7名の議員が質問に立ったことから、一町二制度等調査特別委員会で集中審議しました。

旧余目町の構想に基づき、(株)イグゼあまるめから、交流人口、定住人口増加のための機能、施設として、倉庫の活用、観光拠点、公共スペースなど、駅前周辺約1万㎡を5つの



▲議会全員で視察（新堀倉庫）

ブロックに分けた計画が、3月20日に出されています。

また、町からは「20年4月から、IT企業へのオフィス賃貸事業を予定している。新堀倉庫、余目町農協倉庫、日通事務所跡地の6千㎡を、合併補助金を活用し、1億1千200万円で購入したい。また、事業全体では、公的資金で9億7千700万円を予定している。時間的制約もあることが

ら、臨時議会に関係提案を提案したい」との意向が示されています。

特別委員会で町長は、「町民要望では、産業振興、雇用の創出が強い。新しい産業誘致の起爆剤として、観光事業の核として、この計画をすすめた」と、説明しました。

議員からは「酒田、鶴岡でも駅前開発は失敗した。大丈夫か」「合併補助金、特別債等の活用は適当か」「1企業に対する特別支援でないのか」「振興審議会、都市計画審議会に諮問すべき」など、議論百出。かみ合わない場面も多く見られました。

臨時会の開催時期が未定のため、流動的な部分もありますが、引き続き審議する予定です。

道路整備財源の確保・充実にに関する意見書



バイオエタノールを考えよ

町長 まずは、良質米の食糧基地としたい



齋藤 君夫 議員

る役割を重視し、未来を託す子供達のためにも、地球温暖化抑制に積極的に努めるべきではないか。

町長

庄内町の米づくりでは、現在、おいしい米の里づくりを進めている。



▲どうなる、これからの米作り

エタノール化を進めることは食料から燃料に変えることとなり、良質米の食料基地をめざす庄内町としては、当面これまでの振興方向を進めたい。なお、地球全体から見れば食糧は不足している状況も想定されており、今後の米生産の動向と、国の環境政策、穀物の輸入状況等流れを見定めながら対応を検討していきたい。

米生産が三年連続減産、更に止まらぬ低米価、転作大豆も連作障害の発生、収量にも影響するなど農家にとって打撃が大きい。減反面積が増えるなかでバイオマス資源として米のバイオエタノール化を本町でも転作田に多収量米を付し、取り組む姿勢が必要である。

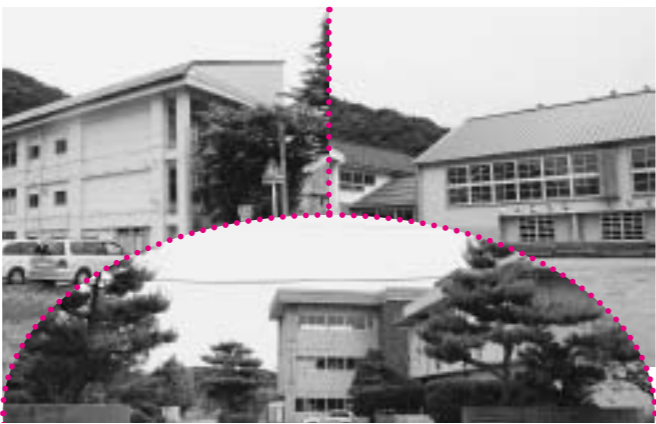
本町は、水田地帯に適地であり気候風土に恵まれた美しい自然、田園風景と食糧生産す

小学校統合の対応は万全か

町長 統合準備会で協議したい



村上 順一 議員



▲21年度で3校の統合決定

立川地域の立谷沢小学校、清川小学校を狩川小学校に平成二十一年度統合する方向性が示されている。児童、保護者、地域

住民の統合にかかる不安を早期に払拭することが先決事項である。課題をどのようにに総括されているのか。狩川小学校の大規模改修、統合準備委員会の設立など今後のスケジュールについて伺いたい。校舎、体育館などの統合後の利活用については、地元から具体的

な提案も出ているが、意見を十分尊重すべきと思うがどうか。

町長

小学校統合に向けては、

これまで9回の説明会を行い、地域住民やPTAの皆さんから教育委員会の考え方について、一定の理解を得られたものと考えている。

説明会で出されたスクールバス通学に対する意見等は、今後設置される統合準備会の中で協議していく。なお、6月開催の教育委員会定例会において、統合年度を平成21年度と決定した。

また、施設整備については、19年度に実施設計、20年度に校舎21年度に管理棟と屋外運動場の整備を考えている。

駅前再開発は説明責任をはたせ

町長 国からの支援も取り入れ考慮



小林 清悟 議員



▲まずは、人口増加（和光町町営住宅）

区の活性化に結び付くと考えるが、いかに。

町長

これまでも地域の皆さん、関係者との話し合い、説明を行ってきた。具体的課題や状況の変化について、今後とも話し合いの場を設け理解を求めていきたい。

7月に臨時議会を開催し、議会の議決をいただきたいとのことだが、実施にあたっては、町民、特に地域住民や関係者へ十分な説明を行い、理解を得て進めるべきである。駅前再開発は、交流人口の増加を図るよりも定住人口の増加に力を入れた方が、駅前地

町は、駅前再開発に合併補助金1億1千200万円を使い、まず駅前の土地6千㎡を購入し、10年間で総額10億円を駅前倉庫の活用等に投

商品券で商業振興に尽くせ

町長 他の地域の状況を見て検討したい



工藤 範子 議員

「スタンプ券、商品券」で、税、公共料金の支払いができる福島



▲使い途を幅広く

県祭町スタンプ会会長を招き、講習会が開催された。商店街の活性化が図られるよう、行政と一緒にになり仕組みを考え、住民福祉向上に役立てている。

本町でも、商工会と連携をとり、響ホール

町長

税金等公共料金を収納できるのは原則現金となっている。例外として証紙、小切手や国債、郵便為替等の代用納付証券とされている。

仮にシールや商品券を受け取った場合、領収書は現金化されるまで発行できず、シール等を預る形となる。

また、公共料金の収納を取り扱う金融機関との協議や、鑑賞券もチケットの発券やプレイガイドとのかかわりがあり課題も多い。商業振興の面から理解はできるものの、町内シールの統一なども含め、他の地域の状況を比較検討してみたい。



駅前開発は活性化の核になるのか 町長 蔵をシンボルに産業の拠点としたい



富樫 透 議員

4月に駅前開発の基本構想が出され、先般、基本方針が示された。総合計画の中では、スポーツ公園や文化の森、健康増進施設などの大型プロジェクトがあるが、最優先という理解でよいのか。

また、全国の市街地活性化策が苦戦している中、この計画は本当に活性化の核となり得るのか。改正まちづくり3法や企業振興条例などの整合性や、すみ分け

その他、顧客ニーズに合った戦略と議論も必要と考えるがどうか。

町長 大型プロジェクトの優先順位は検討中だが、これまでのアンケートからも産業の振興・雇用の創出が住民の強い要望と



▲どんなふうになるの…(鶴岡駅前)

してあった。また、実現の可能性や経済効果の面から考えれば一番と理解して良いと思う。本町は米の町として産業の中心をしめてきたし、その蔵をシンボルとして交流の場や新しい産業の拠点と考えれば核となると考える。事業実施に向けて、議会での議論や、住民の皆さんとの意見交換を行い進めたい。

末端からのスポーツ振興を

町長 公民館は地域の連帯感育成の場



石川 武利 議員

旧町におけるスポーツ振興、特に社会教育、社会体育としての歴史を振り返ると、町民に対して大きな貢献力があつた。



しかし、酒田・鶴岡市では、急速な社会教育、社会体育の見直しを行っている。本町では、平成21年度に総合型地域スポーツクラブの立ち上げの予定である。

次の2点について伺いたい。(1)社会教育、社会体育のあり方について。(2)各学区公民館におけ

▲個別指導充実(茨城県にて)

るスポーツ振興策として、スポーツ未経験者に対する施策があるか伺いたい。

町長 社会教育法と生涯学習審議会答申や生涯学習の振興のための施策推進体制等の整備に関する法律等で住民の自主的的社会教育活動を尊重し、行政は奨励・援助し、施設運営については、住民参加の考えが示されている。

これらに則って運営すると共に、計画的に職員研修の派遣や教育研修所員として、社会教育のあるべき方向について調査検討をしている。公民館はスポーツ振興が主眼ではなく、地域社会の連帯感を高める施策として考えている。

高齢者虐待の未然防止策は

町長 訪問の機会を増やす



吉宮 茂 議員

高齢者虐待の防止、高齢者の保護者に対する支援等に関する法律が平成十八年四月から施行されている。家庭内の虐待は発見



▲元気が一番(ひだまり)

よる虐待防止のため、町職員が随時巡回してはどうか。

町長 相談窓口は、地域包括支援センターと保健福祉課が窓口となり、事業発生時に訪問関係者等が複数で確認にあたっている。事実確認の場合は、個別ケース会議を開き、当事者の意思を尊重し支援方針、支援計画の作成にあたって

しにくいのが通常である。虐待の防止を適正に実施するため、地域包括支援センター、その他関係機関、民間団体との協力体制を整備しなければならないとされている。町内における発生件数と具体的にどのように対応しているのか。また、施設従事者に

要介護の認定調査で施設訪問の機会もあり防止の視点で対応したい。なお、2006年の発生件数は、7件7人となっている。

集落標示板の早期設置を

町長 町の象徴として考慮したい



石川 恵美子 議員

本町は国道47号線、345号線、大中島工藤沢

線などの主要県道、また、スーパー農道など重要な道路網が走っている。近隣の旧町では道路に接する集落に町をイメージしたきれいな標示板が設置されている。合併して2年経過す



▲庄内町はどんなイメージ?(旧藤島町)

るが、本町は未だに設置されていない。来訪者にやさしい町づくり、また、合併して新しい町になったという町民の一体感を養うためにも、早急に町をイメージした集落標示板を設置すべきと考えるがいかがか。

町長 同一の表示をする事で「ここは庄内町だな」と、外から来る人も中にいる人も、同じ思いを持つことは目に見える効果としてはいいのかなと思う。

庄内町を象徴するもので、どの程度のものが良いか研究したい。ただし、現在設置されているところも数多くあり、標示設置費用が高額になる場合も考えられるので、材料の仕様について今後考え方を整理して行きたい。



街路灯は

町で負担できないか

町長 公平性を考慮したい



斎藤 健一 議員

集落にある街路灯、防犯灯の電気料、維持管理経費に対し、余目立川地区の対応が違っていたが、年間電気料の60%を町で補助し40%が集落負担することで街路灯等補助制度検討協議会でまとめられた。

立川地区はこれまで防犯灯の修繕を除きすべて町負担で行ってきた。特に大きな負担となる街路灯については、町の政策で設置してきた経緯がある。

町長 これまでの歴史は歴史として捉え、これからどうするかを考えなければならぬ。

街路灯についてのこれまでの話し合いを踏まえ、負担の公平性を保つことから、電気料と維持管理は集落にお願いする方向で調整したい。修繕料の軽微なものは電気料補助に10%補助金で対応頂き、高額なものは、住みやすい地域づくり補助金で町が4/5を負担することで調整を図りたい。



▲いつまで続くこの明るさ

何ができる？基準を示せ

町長 確認作業を進めたい



小野 一晴 議員

農地、水、環境保全向上対策事業の共同活動に対する交付金の使途基準が、あいまいである。特に水路補修に対す

る規模と業者委託の是非がハッキリしていない。県に確認すると、細部については市町村の独自性を尊重したいので、各地域と町とで判断するのが望ましいとのことであった。この事業は、国の会計検査の対象であり、支出には確かな根拠が必要である。早急に地域の要望に



▲自らの手で環境整備（桑田地内）

町長 事業発足当初と比較し実施できる事業は拡大されてきていると感じている。また、出来ないものが明確になってきたとも思われる。国や県が「地域や町の責任で決定して良いですよ」というものは実施可能な事業と思われる。残された課題は、地域や町が事業に対する確認をどの時点で、着手するかだと思われる。今後さらに話し合いを行いながら確認作業を進めていきたい。

応える判断を示すべきと思うかがか。

“横丁” “屋台村”で活性化を

町長 検討事項として捉えたい



佐藤 彰 議員

駅前再開発、中心市街地活性化に「横丁」「屋台村」をつくり、交流人口の拡大を図る必要がある。そこに、地域活性、環境、起業、



▲地場産はおいしい

安全食材のキーワードが盛り込める。

なつかしい「おふくろの味」に会える。店主との食談義に花が咲く。会社は無理でも屋台なら、おれにも私にもできそう。朝どれ野菜、不揃い魚、今朝まで生きていた鶏、新鮮スローフード。隣りの観光客と話が盛り上がる。

倉庫活用計画に入

町長 それぞれの地域で文化と共

に育んできた食という分野が非常に注目されている。伝統文化に裏付けられ、長い間食べられてきたものが好まれる時代になっており食文化の面からも研究したいと考えている。

町外から人を呼び込む、食のブランドを創出することは町の考え方とまったく同一である。提言の屋台村、横丁は駅前倉庫の開発の中で具体的検討事項として捉えたい。

どうする 駅前開発

町長 皆さんとともに考える



石川 保 議員

6月定例会直前に配布された「駅前再開発と中心市街地活性化推

進基本方針(案)」で、駅前地区の再開発に取り組む意向が示された。9億7千700万円の公的資金を投入し、民間資金と併せれば、費用のかさむ壮大な計画となる。(株)イグゼアまの提言から短期間での計画案であり、審

議会、庁内議論をどう構築したのか伺いたい。また、民間IT企業へのオフィス事業も盛り込まれている。企業振興条例など、根拠とすべき条例があるのか伺いたい。

町長 総合計画の中に示されている施策であり、統合計画を策定する段階で振興審議会や庁内会議で十分に検討してきた内容であることから、振興審議会での議論はしていない。

TMOから案が示された以降、全員協議会や駅前地区での懇談会、行政区長会には説明を行ってきた。現時点で支援策の具体的なものは考えていないが、今後議員のみなさん等の考え方を聞きながら考えていく必要があると考える。



▲歴史を生かして開発可能か？



4大プロジェクトへの取り組みは

町長 まずは駅前開発



日下部忠明 議員

合併前からの課題である4大プロジェクト
 ①八幡スポーツ公園
 ②文化の森II期工事
 ③中心市街地活性化事業
 ④健康増進施設
 について、庄内町として誕生して2年経過した今、町民に考えを示す必要がある。具現化するの、検討し見直しするのか、また白紙に戻すものもあるのか。また、急に計画が出された中心市街地活性化の駅前開発において、倉庫に多額の投資を、

町長 オフィス空間とし、企業に貸付けする事業計画は、多額の施設が盛り込まれ、駅前開発はその一部分として捉えている。貸付の方法は、今年度中に方向付けを明確にしたい。健康増進施設は、10年の間にタイミングを見ながら実施したい。

中心市街地活性化事業は、多くの施設が盛り込まれ、駅前開発はその一部分として捉えている。貸付の方法は、今年度中に方向付けを明確にしたい。健康増進施設は、10年の間にタイミングを見ながら実施したい。



▲この街並みはようになるの？

なぜ!!急浮上した駅前開発

町長 雇用拡大と産業創出がメイン



日下部勇一 議員



▲中心市街地はどこ？

町長 これまでの企業誘致は、製造業を中心としたものであり、用地の取得をはじめ償却資産の投下の下で生産活動を行うものでした。今回の誘致企業については、雇用拡大と新しい産業の創出がメインとなっており、若者定住、雇用の創出の面から対応が必要と考える。振興審議会等に諮るには諮問を前提に開催されるものであり、例えば企業振興条例に添って妥当かどうかを決定していただくような審議と理解している。条件を満たさないものとして、今回については、諮問しなかった。実質公債比率、経常収支比率はどのくらいか伺いたい。

駅前再開発大型事業に約10億のお金を投入して今の時期に何故実施する必要があるのか伺いたい。
 多くの町民は望んでいないし、合意を得られない。

町長 町内の附属機関である振興審議会②地域審議会、都市計画法に基づき審議会にも諮問しないのは、なぜか。借金4億6千500万円は、過疎債、または合併特例債を使う計画であるが、さらに1億円増になる。実質公債比率、経常収支比率はどのくらいか伺いたい。

「食育」の積極的な取り組みを

町長 担当課で検討



小松 貞逞 議員

食生活の変化に伴い、栄養の偏りや、肥満の増加、生活習慣病の増加などいろいろな課題が現出している。心身の健康を維持す



▲笑みがこぼれる給食時間（余中）

町長 食育計画に ついては、多岐に渡ることから副町長を中心に所管する担当課で策定のための検討を始めています。計画の内容は、県で策定した「夢未来やまがた食育計画」で具体的に町が行うべき項目や目標を検討していきたい。各学校での推進計画は策定していませんが、学校給食では家庭的で郷土色を取り入れた食事内容になってきており、また、家庭科の授業は勿論のこと、栽培学習として田植えや稲刈りの体験なども行いながら食育の充実を進めています。



こんな質問もありました

大雨が降ると下流にある田んぼは浸水し、また冠水し、被害を受ける状況にある。田んぼの排水口を払わず貯水し、農家全員で水害にあう方々の思いを汲み取るような指導体制は図られないか。

水田のダム機能に頼るしかない、そのための排水口の調整器があり、農地・水・環境の交付金を使えるのではないか。

小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力調査が行われたが、学校ごとの成績を含む詳しい結果をどう検証し生かしていくのか。

データは学校と教育委員会には公開されるが、他へは非公開である。学校間の比較は厳禁であり、取り扱いに注意しながら教育行政に生かしてゆきたい。

日本一おいしい米コンテストの実行委員会が発足し、12月1日の決勝大会に向けて準備を進めていると聞く。良質米のルーツ「亀の尾」の発祥地として庄内町を全国に発信する絶好の機会と思うが。

日本一おいしい米の里をPRする意味でぜひ成功させたい。また、全国に庄内町の特産品を売り込むチャンスとも考えている。



▲学校はたのしいな！（余目二小）

議会と議員

何やってんなや〜?に

お答えします



▲百聞は一見にしかず (千葉県柏市)

「町民にとって最も身近な政治の場」が町の議会です。

議会では、住民の暮らしがよりよくなるように町に提言したり、町の予算(税金)が正しく使われているかなどをチェックしたり、請願・陳情を受理したりします。

しかし、議員の仕事は議会で発言するだけでなく、意見を述べるために色々なことを調べたり、町民の声を聞いたりすることが大切です。

このことを「議員の日常活動」と呼んでいます。町民の方々からは見えにくい所がもしもありません。

今回は、議会のしくみや議員の活動について、その一部をご紹介します。



▲決算議会の冒頭、伝票をチェック

議会はいつ開かれるの?

議会の開催は、6・9・12・3月の年4回の定例会と、必要な時に開く臨時会があります。3月の定例会(予算議会)は、新しい年の事業や予算を決め、9月(決算議会)は、前年度の事業やお金が適切に使われたかを調べます。議会の召集は町長に権限があり、その告示(召集)を受け、議長は各議員に告知(通

議会は どうすすめるの?

定例会の本会議では、議長が開会を宣言したあと、議会運営委員会の報告をもとに会期などを決め、議事日程(その日に審議する議案の順序)に従って議案がすすめられます。議案には、町から出されるものと、議員及び委員会から出されるものがあります。上程された議案は、提案者(町提案の場合)は町長があたり、細かい部分は課長が補足する)が提案の理由を説明した後、質疑に入り(更に詳細に審査が必要なもの)は委員会に付託する(ある)討論を経て表決(採決)をとります。

発言は自由だが

言葉には気をつけて

本会議では、議長の許可がなければ発言することができません。発言は自由ですが、議題に関係のないこと、個人のプライバシーに関する事、議場の秩序を乱したり、品位を落すものは許されません。会議での発言は、録音され、話したそのままに会議録に記録されます。後から読み返す

と記憶にないフレーズがでてきたりします。この会議録は図書館と各公民館に置いてあり、自由にご覧いただけます。

委員会ってどんなところなの?

議会には委員会を置くことができ、調査や審査をすることが認められています。又、議案を提出することもできます。委員会は常任

委員会と特別委員会に分けられます。

課題を調査し提言

総務・産業建設・文教厚生などの3つがあり、議員はそのどれかに所属します。それぞれの所管(担当範囲)の中で、特に課題になっていることを取り上げ、調査・検討し問題点をとらえ、改善・対策を本会議で報告します。それが町に対する提言ともなります。

常任委員会

議会運営委員会は常任委員会とは別に置かれ、議会の運営や会議の規則、議長から要請のあった事項などを検討し、議長や議会に報告します。

特定の課題を調査

特別委員会

議会の議決によって付託した課題を、一定の期限を付けて審査す

る委員会です。

最近では、一町二制度の未調整課題についてとり上げ、細部について調査しています。広報の編集も議会広報調査特別委員会が行っていて、町の発行する広報とは違った視点で、町の動きをお伝えしています。

議員は普段何をしているの?

「議員は議会がないときは何をしているの」と聞かれることがあります。

議会の開催期間は臨時会を含め、延べで40日程ですが、委員会や全員協議会、町が行う事業や学校・地域での行事に出席します。また、民間組織や普段の町民との交流を通して、課題を見いだすことが多くあります。

これらが「議員の日常活動」と呼ばれるものです。K議員の6月の活

知)します。また、議会が円滑に進むように議会運営委員会が開かれ、会期の日程などを事前に協議します。

議会はこれから どう変わるの?

庄内町議会は、情報公開と議会の活性化に積極的に取り組んでおり、町民の方々から関心を持ってもらいたいと考えています。合併直後の議会では傍聴者も多く、関心の高さがうかがわれました。

現在、議会の中継は役場や町の施設で生放送しています。12月からは全町でインターネットの高速回線利用が可能となり、各家庭でも議会の様子

を見ることができるようになります。

議員の役割

合併や地方分権など、世の中の動きが早まるなかで、議会や議員の役割も拡大し、専門的知識も必要になってきています。とりわけ政策形成能力と行政監督能力の向上に努め、執行部と対等に渡り合えるだけの実力を養っていかなくては求められています。さあ、勉強・勉強!



▲ボランティアに支えられて (要約筆記風景)